

第 57 回クラシックを楽しむ会

2018 年 8 月 19 日 (日) 18:00～ (2 時間 15 分、休憩除く)

タイトル：**歌劇「ナブッコ」(ヴェルディ)**

ヴェローナ野外オペラ 2017 公演
2017 年 8 月 23、26 日

会場等：ヴェローナ野外劇場
楽団等：ヴェローナ野外劇場管弦楽団、
ヴェローナ野外劇場合唱団
指揮：ダニエル・オーレン
演出：アルノー・ベルナル



第 4 部終幕場面。「ミラノの 5 日間」の蜂起をイメージした舞台演出

出演：ジョージ・ギャグニツァ (ナブッコ)
スザンナ・ブランキーニ (アビガイルレ)
ニーノ・スルグラジェ (フェネーナ)
ルーベンス・ペリッツァーリ (イズマエーレ)
ラファウ・シヴェク (ザッカーリア)
その他

ものがたり

新バビロニア王ネブカドネザル 2 世が紀元前 586 年にユダ王国の都エルサレムに侵攻してユダ王国を滅ぼし、1 万人を超えるヘブライ人を捕虜または奴隷としてバビロンに強制連行した歴史的事実「**バビロン捕囚**」と旧約聖書の物語に基づいて創作された。

みどころ聴きどころ

第 3 部第 2 場、バビロニアに囚われ、ユーフラテス川の岸辺で鎖につながれたヘブライ人達が望郷の念を歌う合唱「**行け、わが想いよ、黄金の翼に乗って**」はイタリアの第 2 国歌とされ、イタリア以外でも公演中にアンコールされるほどの名曲である。

本公演の演出

本公演の演出は、旧約聖書の時代ではなく、イタリア統一運動の荒れ狂った時代のミラノに舞台を移している。1848 年に起きた「ミラノの 5 日間」の蜂起と、その 6 年前にミラノ・スカラ座で初演した歌劇「ナブッコ」の舞台に重ね合わせている。

第 58 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：**歌劇「トゥーランドット」(プッチーニ)**

9 月 16 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

メトロポリタン歌劇場 1987 年の公演。エヴァ・マルトン、ブラシド・ドミンゴ。絢爛豪華な舞台を楽しみましょう。

10 月以降、バイロイト音楽祭 2018 歌劇「ローエングリン」、マリインスキー劇場 II 2017 「くるみ割り人形」、ザルツブルグ音楽祭 2012 「ボエーム」などを予定。

あらすじ

【時と場所】

紀元前 586 年頃、エルサレムおよびバビロン

【主要人物】

ナブッコ (バリトン)	バビロニアの王
アビガイッレ (ソプラノ)	ナブッコが女奴隷に生ませた王女 (長女)
ザッカーリア (バス)	エルサレムのソロモン神殿の大祭司
イズマエーレ (テノール)	ヘブライ王の甥、フェネーナと恋仲
フェネーナ (ソプラノまたはメゾソプラノ)	ナブッコの王女 (次女)、イズマエーレと恋仲

【第 1 部】「エルサレム」ソロモン神殿の中

バビロニアの王ナブッコとその王女アビガイッレ率いるバビロニア軍のエルサレム総攻撃に、エルサレムのヘブライ人たちは怯えて開幕の合唱「祭りの晴れ着がもみくちゃで」を歌う。大祭司ザッカーリアはナブッコの王女フェネーナを人質にしているから心配ないとヘブライ人達を安心させる。実はその人質フェネーナとヘブライ王の甥イズマエーレは恋仲。アビガイッレはイズマエーレ誘惑に失敗する。

ナブッコがソロモン神殿に迫り、ザッカーリアはフェネーナを殺そうとするがイズマエーレに阻止されて失敗。ナブッコは神殿とエルサレムの町の破壊を命じ、ヘブライ人をバビロニアに連行する。

【第 2 部】「邪悪」

第 1 場 バビロンの宮殿の一室

アビガイッレは自分が女奴隷の子であること、父ナブッコが妹フェネーナに王位を継がせようとしているのを知り、怒りに燃えて劇的なアリア「かつて私の心も喜びに」を歌う。バビロニアの神官たちもアビガイッレに王位を継がせよう画策、アビガイッレは喜び、野心を抱く。

第 2 場 バビロンの宮殿の大広間

ザッカーリアは破壊されたソロモン神殿と祖国の復活を祈り、ユダヤ教に改宗したフェネーナとイズマエーレをかばう。アビガイッレとバビロニアの神官たちが現れてフェネーナから王冠を奪おうとする。そこにナブッコが登場、「自分はただの王ではない、神なのだ！」と叫んだ途端、神の怒りに触れて錯乱する。そして王冠はアビガイッレが手に入れる。

【第 3 部】「預言」

第 1 場 バビロンの空中庭園

アビガイッレは今や玉座に座り、ヘブライ人達を死刑とする命令書を作成してナブッコに押印を強要。ナブッコはユダヤ教に改宗した実の娘フェネーナも死刑になることを知って命令の取り消しを懇願。

第 2 場 ユーフラテス河畔

ユーフラテス河畔で、ヘブライ人たちが祖国への想い「行け、我が思いよ、黄金の翼に乗って」を歌う。ザッカーリアは人々を勇気づけ、祖国の勝利とバビロン滅亡を予言する。

【第 4 部】「偶像破壊」

第 1 場 バビロンの宮殿の一室

ナブッコはヘブライの神エホバに許しを請い、アリア「ユダヤの神よ」を歌う。忠臣たちがナブッコの監禁を解く。正気にもどったナブッコはフェネーナの救出と王位奪回を誓う。

第 2 場 バビロンの空中庭園

フェネーナとヘブライ人たちが処刑のため祭壇に引き出される。突然ナブッコが駆けつけて、祭壇の偶像破壊を命令すると偶像はひとりでに崩壊。一同奇蹟に驚きエホバの神を讃え、合唱「偉大なエホバ」を歌う。ナブッコはヘブライ人たちの釈放と祖国への帰還を宣言する。毒をあおったアビガイッレが連れ出され、ナブッコとフェネーナに許しを乞いつつ息絶える。ザッカーリアはナブッコを「王の中の王」と讃える。

出演者



ギャグニツザ
(ナブッコ)

ブランキーニ
(アビガイルレ)

スルグラジェ
(フェネーナ)

シヴェク
(ザッカーリア)

ダニエル オーレン
(指揮)

アルノー・ベルナル
(演出)

ジョージ・ギャグニツザはジョージア（グルジア）の首都トビリシ生まれのバリトン歌手。メトロポリタン歌劇場 2008/09 にリゴレット役でデビュー後、毎シーズン出演を続けている。世界の主要歌劇場で活躍している。

スザンナ・ブランキーニはイタリア・ローマ生まれのソプラノ歌手。母親はカリブ海トリニダード・トバゴ出身。イタリアの主要歌劇場の他、海外でも活躍している。

ニーノ・スルグラジェはジョージア（グルジア）の首都トビリシ生まれのメゾソプラノ歌手。オペラ界のペネロペ・クルス（スペインの女優）と呼ばれたり、オードリー・ヘップバーンに似ているとも。メトロポリタン歌劇場など世界各地で活躍している人気歌手である。

ラファウ・シヴェクはポーランド生まれのバス歌手。イタリアの主要歌劇場を中心に活躍している。

ダニエル オーレンはイスラエル・テルアビブ出身の指揮者。敬虔なユダヤ教徒でキッパーと呼ばれる半球帽を着用。1976年20歳でローマ歌劇場音楽監督に就任して話題となり、以来イタリアを中心に世界中の歌劇場で活躍。2007年からサレルノ・ヴェルディ歌劇場芸術監督。

アルノー・ベルナルは現在ヨーロッパで最も注目されている演出家。当初、フランス・ツールーズのオーケストラでバイオリン奏者をしていて、なお、ディオールやルイ・ヴィトンなどを手中に収めるフランスの実業家とは別人。

初演当時のミラノ

歌劇「ナブッコ」は1842年ミラノ・スカラ座で初演され、熱狂的な興奮を巻き起こした。当時のミラノはオーストリア帝国が支配するロンバルド・ヴェネト王国。聴衆は自分たちの境遇を、強制労働を強いられているヘブライ人の姿に重ね合わせ、合唱と共に立ち上がって一緒に歌ったと伝えられている。



オーストリア帝国軍旗

「ミラノの5日間」

初演から6年後の1848年、ミラノの民衆が蜂起し、ヨーゼフ・ラデツキー将軍率いるオーストリア軍を退却させ、臨時政府を組織した。「ミラノの5日間」と呼ばれる。フランス国旗由来のトリコローレは独立運動のシンボル。



ラデツキー将軍

ラデツキー将軍

ハンガリー貴族の流れを引くオーストリアのラデツキー伯爵は1836年に元帥になる。1849年から1857年までロンバルド・ヴェネト王国の総督を務め、北イタリアの独立運動を苛烈に弾圧した。民衆は処刑された指導者達を「殉教者」とし、独立運動の象徴とした。



トリコローレ

「ラデツキー行進曲」

ヨハン・シュトラウス1世は北イタリアの独立運動の鎮圧に向かうラデツキー将軍を称えて1848年にこの曲を作曲した。ウィーンフィルのニューイヤーコンサートを締めくくる名曲でもある。

ナブッコが活躍した時代

新バビロニア王国

オリエン特世界を統一したアッシリアに支配されていたバビロニアの王ナボポラッサルが B.C.612 年に隣国のメディア王国と協力してアッシリアを滅ぼして新バビロニア王朝を築いた。その息子の**ネブカドネザル 2 世**がこのオペラの主人公**ナブッコ**である。ナブッコとはネブカドネザルのイタリア語の俗称。

ユダ王国

イスラエル王国（ヘブライ王国）が分裂した後の南部の王国で都はエルサレム。前 586 年に新バビロニアの**ネブカドネザル 2 世**に滅ぼされた。イスラエル王国の**ダヴィデ王**、その子**ソロモン王**のユダ一族の王位を継承したのでユダ王国と呼ばれる。

バビロン捕囚

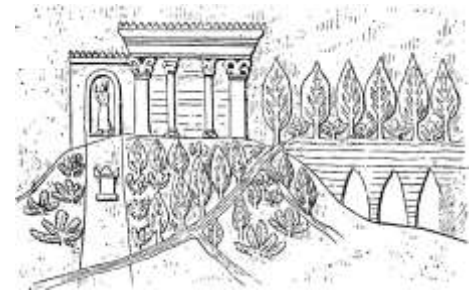
新バビロニア王**ネブカドネザル 2 世**が B.C.586 年にユダ王国の都エルサレムに侵攻してユダ王国を滅ぼし、1 万人を超えるヘブライ人を捕虜または奴隷としてバビロニアの都バビロンに連行した。これを「バビロン捕囚」と呼ぶ。ネブカドネザル 2 世の死後まもなくの B.C.539 年に新バビロニアはアケメネス朝ペルシアに征服され、ヘブライ人は捕囚から数十年後に故国に返された。

ソロモン神殿

B.C.10 世紀にイスラエル王国のソロモン王がエルサレムに建設したヤハウエ（エホバ）を祭る神殿をソロモン神殿と呼ぶ。**ネブカドネザル 2 世**がユダ王国を滅ぼしたときエルサレムの町とこの神殿を破壊した。

バビロンの空中庭園

ネブカドネザル 2 世は王妃のために、故郷イラン高原の山を模した巨大な庭園をバビロンに建造したとされる。古代の「世界の七不思議」のひとつで庭園が空中に吊下げられているように見えたという。現在のバクダッド近郊にそれらしい遺跡が残っている。なお、右の図は当時のアッシリアの都ニネヴェ遺跡で見つかったレリーフで、空中庭園の樹木に散水するための水道設備とされる。



レリーフに描かれた空中庭園の水道設備

ヴェルディの生家



GoogleMap から 中央の建物がヴェルディの生家、生家のすぐ手前に右写真の教会がある



サン・ミケーレ教会と鐘楼

ヴェルディは 1813 年にイタリア北部の小さな町**ブッセート**近郊パルマ-クレモナ街道筋の小村ロンコーレ村の飲食店兼旅籠屋に生まれた。敗退したナポレオン軍の後、侵入したオーストリア帝国軍による略奪、陵虐を避けるため、彼の母親は乳飲み子のヴェルディを抱えてすぐ近くの教会の鐘楼に隠れた。その後のナブッコ初演当時も祖国統一の武力闘争とオーストリア帝国による弾圧の時代が続いていた。このオペラは独立と平和を希求するイタリア人の強い共感を生んだ。



ネブカドネザル 2 世